

製品名: TRAF2 (11L12) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe19182**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	TRAF2
別名	TNF receptor-associated factor 2; E3 ubiquitin-protein ligase TRAF2; Tumor necrosis factor type 2 receptor-associated protein 3; TRAF2; TRAP3;
遺伝子 ID	7186.0
SwissProt ID	Q12933
免疫原	ヒト TRAF2 の組み換えタンパク質

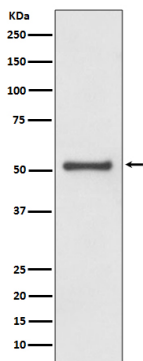
背景

TRAF (TNF 受容体関連因子) は、表面受容体に結合し、追加のタンパク質をリクルートして、細胞応答を促進できる多タンパク質シグナル伝達複合体を形成する多機能アダプタータンパク質ファミリーです。EIF2AK2/PKR による NF- κ B の活性化を媒介する役割を果たします。BIRC2 または BIRC3 と複合体を形成し、IKBKE のユビキチン化を促進します。NF- κ B および JNK の活性化を制御し、細胞生存およびアポトーシスの制御において中心的な役割を果たします。IgM から IgG への正常な抗体アイソタイプスイッチに必要です。E3 ユビキチンタンパク質リガーゼ活性を持ち、BIRC3、RIPK1、TICAM1 などの標的タンパク質の「Lys-63」結合ユビキチン化を促進します。複数の E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼ複合体の必須構成要素であり、標的タンパク質を他の E3 ユビキチンリガーゼと接触させることでユビキチン化を促進する。BIRC2 および BIRC3 タンパク質の自己ユビキチン化とそれに続く分解を阻害することで、それらのタンパク質レベルを調節する。これは TRAF2 の RING 型ジンクフィンガードメインに依存しない。EIF2AK2/PKR による NF- κ B の活性化を媒介する役割を果たす。BIRC2 または BIRC3 と複合体を形成することで、IKBKE のユビキチン化を促進する。

研究分野

アポトーシス、MAPK シグナル伝達経路

画像データ



HeLa 細胞溶解物中の TRAF2 発現のウェスタン プロット分析。